

自ら課題を見付け、見通しをもって活動する児童の育成

荒川区立第四峡田小学校

(1) 研究主題について

昨年度は「生活科・総合的な学習の時間」の研究を進め、児童が自ら課題を見付けることができる単元計画の作成や、児童が見通しをもって学習に取り組むための手立てを行い、児童が自ら「これはどうなっているの。」や「～について調べたい。」と主体的に学習に取り組める児童の育成に努めてきた。

その結果、昨年度の研究を通して、課題や疑問について本やインターネット、インタビュー等で調べる力や、ポスターや新聞にまとめ、自分の考えを表現する力は身に付いてきている。また、他教科で学んだことを生活科や総合的な学習の時間で生かそうという児童の姿勢も見られた。

一方で、調べて分かったことやまとめたことを、周りの人に発信することに対して苦手意識を感じている児童が多く、自分たちができていることに対して自信がもてない児童の姿も多く見られた。また、課題設定が本当に適したものなのか、その課題を児童一人一人が「自分事」として捉えることができているのかという意見が課題として挙がっていた。

このことから、今年度は研究の手だてを3点とし、本研究を進めていくこととした。

(2) 主題に迫るための手だて

- ①児童一人一人が自分事として捉えることができる課題設定の工夫
- ②活動を充実させるための指導の工夫
- ③自分の思いや願いをもち、相手に伝えたいと思える場の設定

(3) 研究経過

1	4月30日	研究について校内で確認 主題や年間指導計画の確認
2	5月28日	講師の先生による講義 講師：國學院大學 人間開発学部 初等教育学科 准教授 三田 大樹 様
3	6月25日	研究授業 2年生 生活科 「めざせ野菜づくり名人」 講師：東京都生活科・総合的な学習の時間教育研究会 前副会長 北区立岩淵小学校 前校長 公益財団法人さわやか福祉財団 子どもの未来応援プロジェクトリーダー 野尻 史子 様
4	7月15日	研究授業 3年生 総合的な学習の時間 「みんなにやさしいまち～じぶんたちにやさしいまちって?～」 講師：國學院大學 人間開発学部 初等教育学科 准教授 三田 大樹 様
5	9月24日	研究授業 1年生 生活科 「なかよくなろうね 小さなともだち」 講師：東京都生活科・総合的な学習の時間教育研究会 前副会長

		北区立岩淵小学校 前校長 公益財団法人さわやか福祉財団 子どもの未来応援プロジェクトリーダー 野尻 史子 様
6	10月14日	研究授業 5年生 総合的な学習の時間 「町屋の防災をつなげたい」 講師：國學院大學 人間開発学部 初等教育学科 准教授 三田 大樹 様
7	12月16日	研究授業 6年生 総合的な学習の時間 「荒川区の魅力を伝えよう！」 講師：港区立赤羽小学校 主幹教諭 松村 英治 様
8	1月28日	研究授業 4年生 総合的な学習の時間 「未来へつなぐ!ごみゼロ大作戦!!」 講師：國學院大學 人間開発学部 初等教育学科 准教授 三田 大樹 様
9	2月10日	今年度の研究のまとめ 次年度に向けて

(4) 成果と課題について

成果：・児童一人一人が課題をもち、自分事として捉えられるような単元計画を学年で話し合いながら作成することができた。

・単元のゴールに向けて、児童の姿から教員が見通しをもって活動を進行することができた。

・「生活科・総合的な学習の時間」の授業の進め方や評価の考え方など基本的なことが理解でき、実践することができた。

課題：・「自ら課題を見付ける児童の姿」を、教員がイメージできていなかった。

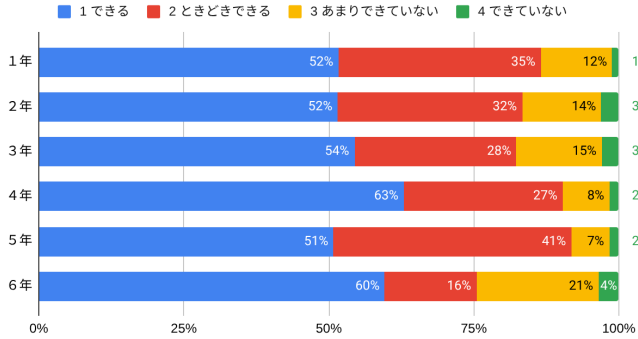
・「見通しをもって活動すること」に対して、支援の方法が曖昧になってしまい、児童の活動自体の見通しが理解できていなかった。

・主題にせまる手立ての「視点②活動を充実させるための指導の工夫」についての話し合いが多く、主題についての協議まで至らなかった。

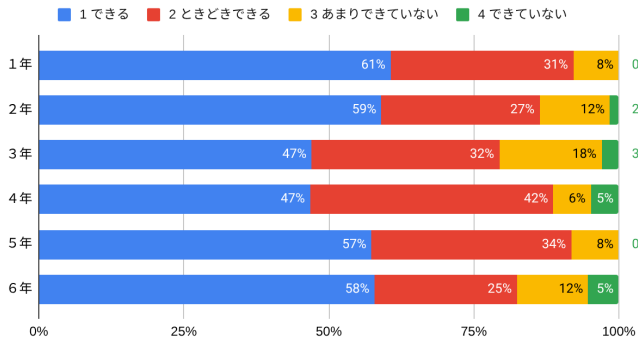
実態調査結果

R6

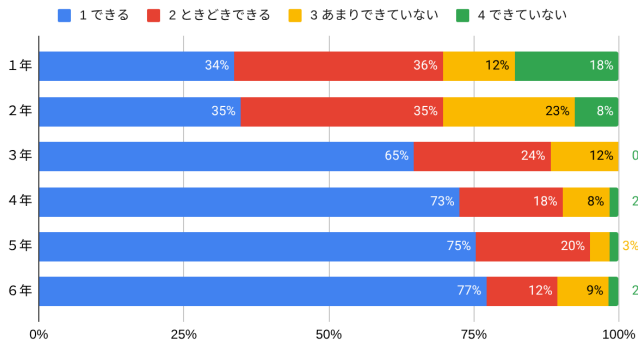
自ら課題を設定することができますか。



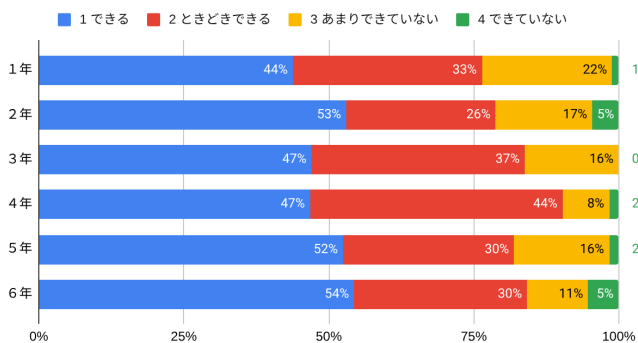
課題解決に向けて見通しをもって取り組むことができますか。



自分が必要な情報をタブレットや本を使って集めることができますか。

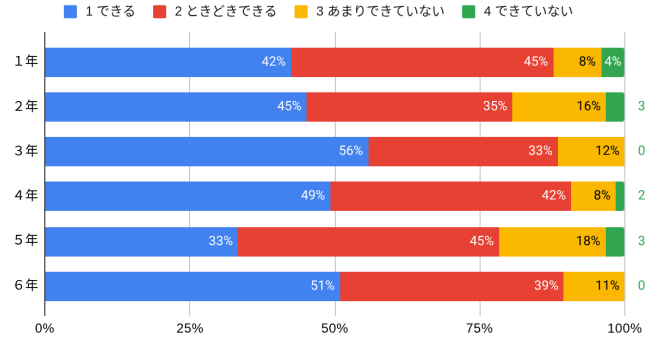


友だちの考えと比べ、自分の考えをもつことができますか。

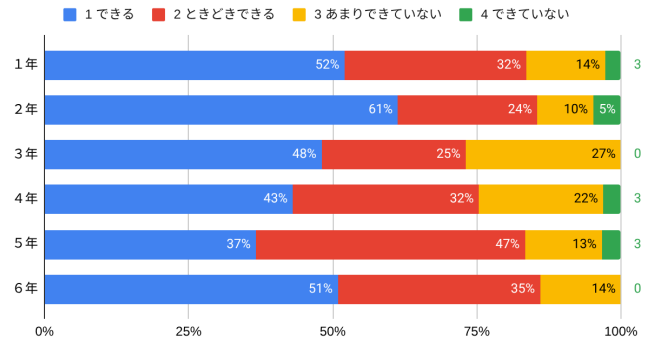


R7

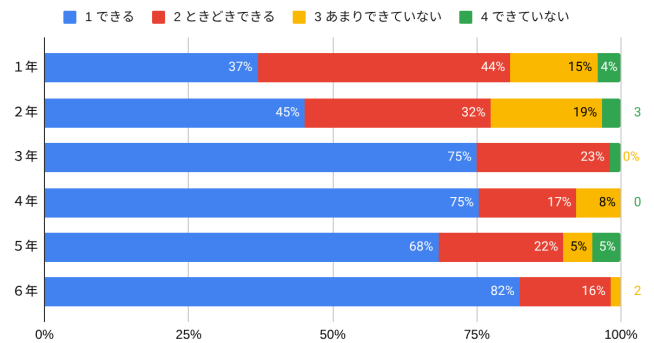
自ら課題を設定することができますか。



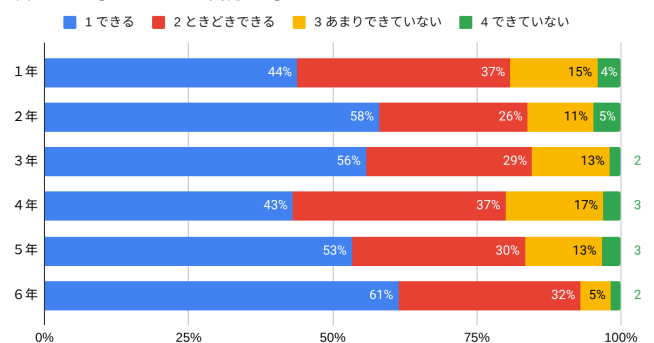
課題解決に向けて見通しをもって取り組むことができますか。



自分が必要な情報をタブレットや本を使って集めることができますか。



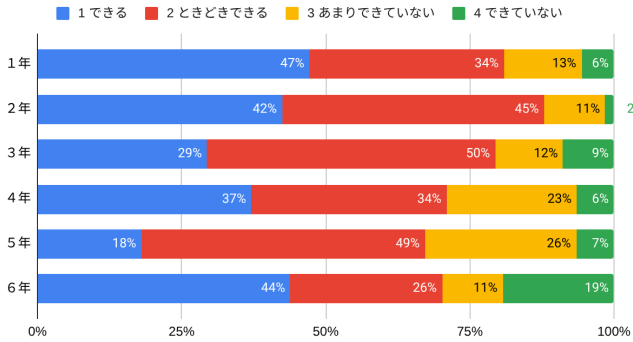
友だちの考えと比べ、自分の考えをもつことができますか。



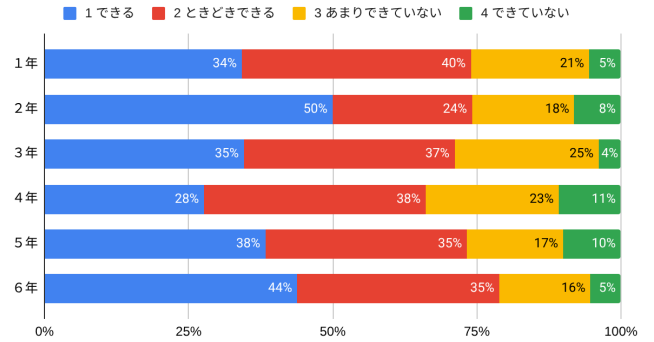
R6

R7

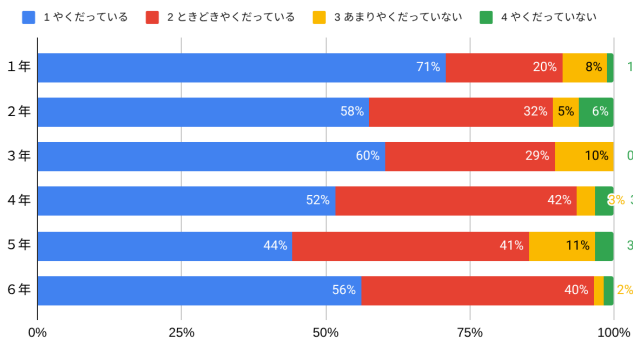
自分の考えを友達や先生、家族や地いきの人などに伝えようとしていますか。



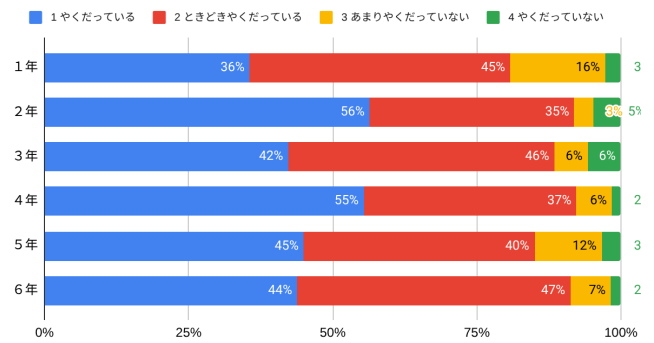
自分の考えを友達や先生、家族や地いきの人などに伝えようとしていますか。



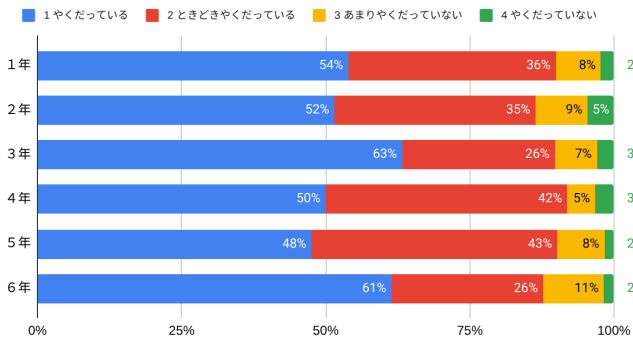
他の教科で学んだことが役立っていますか。



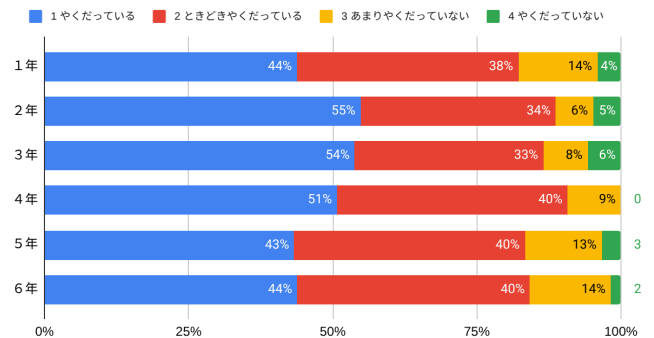
他の教科で学んだことが役立っていますか。



学んだことが他の教科や自分の生活に役立っていますか。



学んだことが他の教科や自分の生活に役立っていますか。



学年ごとに、「他教科で学んだことが役立っている」と回答した児童が増えたり、「自分の考えを友達や先生、家族や地いきの人に伝えようとしている」と回答した児童が増えたりしていた。昨年度の改善点を生かした授業計画によりこの結果になった。今年度の課題として「課題設定」と「見通し」について、児童に伝えていく方法を見直していく。